

通学区域変更、学校統合に関する計画（原案）説明会 参加者意見等

開催日時 平成24年7月8日（日）午前10:00~12:10

開催場所 東愛宕小学校 1階 SCR室

参加者 出席者9名（女8・男1）

市側説明者 教育部参事、教育指導課長事務取扱教育部参事、教育部副参事、
教育振興課長、学校支援課長、学事・一定規模適正配置担当2名

●資料説明に対する質疑等

○指定校が二小だが、東愛宕小に変更することはよいが、中学は和田中学校の枠が開いていけば和田中に行くことはできるのか？

⇒中学校1年に就学する際、Bエリアで和田中学校への就学希望は特例措置で可能である。特例措置は経過措置と違い、基本的には平成26年度のみとは考えていない。将来的にも特例措置は継続する予定である。ただし、優先度Bであるので、確実に和田中に就学できるわけではない。和田中については新1年生160人を上限の受入人数を考えている。今後、和田中学区の数が増えると160人を超えることもあるので、その場合は学区外からの受入人数の制限もある。

○現在、6年生で中学校2年で転籍となるが、1年間だけ和田中学校で2年間を東愛宕中学校となる、子どもも親も戸惑いがあり、和田中に残ることが可能であれば良いと思うが、やむを得ない理由とは今挙げられている理由の中に当てはまる確率が高いのだが、どうなるのか？

⇒26年度の中学校2年については経過措置に相当するが、なるべく広く考えていきたいと考えている。中学校2年生で学校を異動することは子どもにとっても大きな影響を及ぼすので、なるべく配慮したい。

○26年4月に西愛宕小学校に入学するが、統合前に東愛宕小に就学させたい。26年の新1年の数は2学級くらいの人数になるか？今まで愛宕に住んでいても三小を希望していたり、中学校は鶴牧中に行ったりしていると聞いたことがあるが、今後はこのように選択できなくなるのか？条件付学校希望制は何年度から始まるのか？

⇒条件付学校希望制については、平成25年度の新1年生からの実施を決定している。来年度の新1年生に対しては通知をした。これまでのような学校選択制を見直すので、基本的には指定校に就学することになる。調整区域や基準に該当するときは指定校以外の学校を希望できる制度に移行する。

来年度の新1年生については条件付学校希望制によって指定校に就学することとなる。

26年度の西愛宕小の学区で統合前に東愛宕小に就学したいということについては推計で26年度でABCDエリアを学区変更した場合、東愛宕小学区には59名がいて、二小に兄弟がいる子を除いても45名が東愛宕小に就学予定である。35人が1クラスとな

っているので複数学級になると考えている。

○三小を希望しても無理なのか？

⇒学校選択制を見直すので、来年度からは新しい制度である条件付学校希望制となる。基準に該当すれば指定校以外の学校に行けることになる。

○東愛宕小に25年度に就学するABCDエリアを除いた人数は？

⇒現在は19名いる。

○男女別はどうなっているのか？

⇒学校支援課で19名の内訳を調べることはできるので、学校支援課に問い合わせいただければお答えできる。

○優先度はやむを得ない理由の内容によって変わるのか？無い部活の場合でも優先度はCの判断なのか？優先度によって希望しても入れないのは承知できない。

⇒経過措置については優先度という考えは持っていない。やむを得ない理由に該当すれば引き続き在籍校に残ってもらうことになる。優先度が低いから転籍してもらう理由とはならない。やむを得ない理由をどこまで認めていくということについては子どもの心情を考え、広く設定してほしい旨の意見があったので、教育委員会に報告する。
やむを得ない理由に該当するというように認められる場合は基本的に既に就学している学校に卒業まで在籍していただく方向で考えている。

○今、小学校3年生で26年度5年生となるが、経過措置のイのやむを得ない理由に当てはまるのか？優先度とは違い、強制的に転籍させられるのか？

⇒経過措置のイに該当するので、来年10月に転籍希望調査を行う予定。今回の例だと4年生の時に希望を聞き、5年生で東愛宕小に移るとというのが原則であるが、二小に引き続き残りたいかとの調査をする。その中で考えているのはやむを得ない理由に該当するのは二小に卒業まで在籍できるということについてのやむを得ない理由が資料21ページに例示したケースである。

子どもの心情を考え、広く設定してほしい旨の意見があったので、これについては教育委員会に報告する。

○現在、西愛宕小の2年生で、下の子どもが年中なので平成26年度の時に1年生になり、西と東愛宕小が28年度に統合するという事で、統合以前に希望により西愛宕小が学区の場合でも東愛宕小に行けるとなった場合、西愛宕小へ26年度以降入学する子どもが極端に減ることがないのか？

⇒今、西愛宕小に居る人も今後就学予定の方もこの先統合するのであれば東愛宕小に先に行きたいと思っている人もいる。そういう人に行けないとは言えない。西愛宕小の児童が減ることも想定しなければいけない。実際に希望を聞いてどうなるか確定的なことは言えないが、少なくなる可能性も多分にある。我々も28年度に統合することで教育内容をしっかり考えていかねばならない。

○26年4月の入学児童で兄弟要件を除く東愛宕小の子が45名と聞いたが、兄弟要件を

除く2年生から6年生までの人数を教えてください。6年生は資料を見ると全員異動した場合の児童数・学級数が書いてあるが6年生が60人になるとのことだが、6年生は動かないとのことで、東愛宕小の6年生だけと思うが、二小から異動しないという兄弟要件でかなり人数が減るのではないかと思う。単学級となることを心配している。

⇒学年ごとの細かい数字は後日確認して公式ホームページで公表する。

○全員にわかるように数字を教えてください。

⇒公式ホームページで公表する。